

「さいたま市総合振興計画審議会 第1部会」意見整理表

資料1-2

《環境・アメニティの分野》

施策1：地域から取り組む「環境への負担の少ない持続可能な社会」の実現

整理番号	意見の概要	修正案
1	<p>施策展開は「(3)地球温暖化対策の推進」を最初に持つてくるとつながりが良い。</p>	<p>ご意見を踏まえて、1. 現状と課題を <u>・環境への負担の少ない持続可能な社会の実現に向けて、本市が第一に取り組むべき課題として、地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化の問題があります。地球温暖化の原因である温室効果ガスのうち最も大きな割合をしめる二酸化炭素は、本市では運輸部門や民生家庭部門、民生業務部門からの排出量が多くなっており、市民・事業者・行政の連携・協力のもと、排出量の抑制のため、それぞれの役割と責任を意欲的に果たしていくことが大切です。</u> <u>・環境の保全と創造により良好な生活環境を確保するためには、社会全体で環境への関心を高め、日常生活や事業活動のあらゆる場面で環境に配慮するとともに、環境教育への取組、各主体の環境保全活動、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を促進する必要があります。</u></p>
2	<p>施策1の施策展開(3)は重要なことであり、市が環境先進都市として何をしていくのか期待しているが、記載内容を見ると、一般論になってしまっている。</p>	<p><u>・また、節電対策等の省エネルギー化の推進や太陽光など再生可能エネルギー等の導入促進、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーの更なる活用など、新たなエネルギー政策に係る取組の推進も重要な課題となっています。</u> <u>・特に、平成23年12月に国から指定を受けた、「次世代自動車・スマートエネルギー特区」を活用し、都市の低炭素化、エネルギーセキュリティの確保等、先駆的な取組を推進する必要があります。</u></p>
3	<p>施策1の施策展開「(4)再生可能エネルギー等の導入促進」や「(5)次世代自動車・スマートエネルギー特区を活用した「環境未来都市」の実現」は、さいたま市が非常に力を入れていて、「(3)地球温暖化対策の推進」につながることで、施策展開(4)(5)にある具体的な取組と地球温暖化対策とのつながりが伝わるように整理した方が良い。</p>	<p>に修正 4. 施策展開について <u>「(1)環境負荷の少ないまちづくり」、「(2)環境の保全と創造に向けた環境教育や活動の推進」「(3)良好な生活環境の確保」</u> と整理 (4)再生可能エネルギー等の導入促進の1つ目の・を <u>「太陽光や太陽熱など、二酸化炭素排出量や環境負荷の少ない再生可能エネルギーの活用を推進します。」</u> に加筆、修正</p>

4	節電と省エネという言葉が混在している。節電は夏の電気ピークカットを指し、省エネは全体的なエネルギーの削減を表すものなので、省エネに一本化してもらいたい。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(1)の2つ目の・を「 <u>環境負荷の少ない商品の開発技術の向上、省エネルギーや、</u> 」に加筆、修正
5	施策展開「(1)環境の保全と創造に向けた環境教育や活動の推進」について、「教員の研修会」という細かい内容まで記載すると、これしかやらないと誤解を招く可能性もある。むしろ一般の大人をいかに教育するのが大事である。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(2)の1つ目の・と2つ目の・を「 <u>環境への関心や学習意欲を高めるため、学校における環境教育の充実を図るとともに、環境関連の情報を積極的に発信し、子どもから高齢者まで、だれもが情報収集や学習をすることができる機会や場所の創出に取り組みます。</u> 」
6	施策展開(1)について、学校だけでなく、市民全員が生涯学習の中で環境教育に取り組むために、機会や場づくりだけでなく、人材育成のも加えると良い。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(2)の1つ目の・と2つ目の・を「 <u>環境への関心や学習意欲を高めるため、学校における環境教育の充実を図るとともに、環境関連の情報を積極的に発信し、子どもから高齢者まで、だれもが情報収集や学習をすることができる機会や場所の創出に取り組みます。</u> 」
7	環境教育に市民が参加して理解することが重要なので、施策1の施策展開(1)の1つめ目に、「市民参加型の環境教育」などの文言を入れるなど、表現を考えてほしい。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(2)の1つ目の・と2つ目の・を「 <u>環境への関心や学習意欲を高めるため、学校における環境教育の充実を図るとともに、環境関連の情報を積極的に発信し、子どもから高齢者まで、だれもが情報収集や学習をすることができる機会や場所の創出に取り組みます。</u> 」
8	アメニティは居心地が良いという意味で、景色や色、街並みの調和なども含まれるので、都市公害からそれらを保全することでアメニティを確保する旨を記載した方が良いのではないか。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(3)の2つ目の・を「 <u>騒音・振動・悪臭等に対する適切な監視、指導等に取り組み、快適な生活環境の確保を図ります。</u> 」
9	施策展開(5)のタイトルや用語解説だけでは、市民にこの取組の素晴らしさが伝わらない。詳しいパンフレットなどを見なくても、言葉だけで市民が想像できるような作り込みができる協働の時代の良い計画書となる。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(5)を「 <u>次世代自動車の普及を促進するとともに、ガソリン、天然ガスに加え、電気、水素など多様なエネルギーが供給可能なハイパーエネルギーステーション、互いにエネルギーを融通し合い、エネルギー利用の最適化を図るスマートホーム・コミュニティ及び環境にやさしく、地域の手軽な移動手段となる低炭素型パーソナルモビリティの普及を推進します。</u> 」
10	施策1の施策展開(1)の3つ目について、「環境コミュニケーション」とは何か、例を挙げるなどして、具体的にイメージできる表現にした方が良い。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(2)の2つ目の・を「 <u>環境に関する情報の共有や対話など環境コミュニケーションを通じて、市民とや事業者とが連携・協力して環境の保全に取り組みます。</u> 」

施策2：ともに取り組み、参加する、めぐるまち（循環型都市）の創造

整理番号	意見の概要	修正案
1	「循環型都市(めぐるまち)」を実現するには、市民が参加可能なまちづくりをする必要がある。例えば、施策2の現状と課題について、指定都市20市の中で6番目に少ないと書くのではなく、どの市と同等なのか分かるようにすると対策を考えやすいだろう。	ご意見を踏まえて、1. 現状と課題の1つ目の・を「本市のごみ排出量は、平成23年度において一人1日あたりに換算すると948gとなっています。 <u>ここ数年は、1kgを下回っていますが、経済状況等によっても変化するため、今後もより一層の減量に取り組む必要があります。</u> 」 に加筆、修正
2	施策展開(1)1つ目について、リデュース・リユースを説明するため、例えばマイ箸の持参などの例示をいくつか追加すると分かりやすい。	ご意見を踏まえて4. 施策展開(1)を
3	現在、国では3Rより2R(リデュース・リユース)を重視するようになっており、リサイクルはあくまで分別収集が大事だということなので、その点を市民にもわかりやすく書き加えた方がよい。また、可能であれば「目指す方向性」も特に2Rが重要だという記載にした方がよい。	「 <u>買い物時のマイバッグ使用、外出時のマイボトル持参など、ごみの発生・排出の抑制(リデュース)とともに、不要になったものを譲り合うなどの再利用(リユース)を推進します。</u> 」 「 <u>ペットボトルや古紙の回収など再び資源化する、再生利用(リサイクル)を推進します。</u> 」
4	市民生活においては、3Rのうち2R(リデュース・リユース)を重視する方向に変化してきているが、産業政策では3Rのうちリサイクルも定着している。	に加筆、修正
5	市の廃棄物処理の方向性(どのような処理を市は目指しているのか)について、国の方向性に沿って進めることでも構わないので、記載してほしい。	ご意見を踏まえて、2. 目指す方向性を
6	廃棄物処理の分野は、細かく記載することは難しいので、抽象的な表現であるが、意欲的であるという方向性が見える言葉を入れておくと良いのではないかと。	「 <u>環境負荷の少ない循環型都市(めぐるまち)の実現に向け、市民、事業者、行政が連携・協力し、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3Rを積極的に進め、ごみを減量し、適切に資源を有効活用するまちを目指します。</u> 」
7	循環型都市の創造というものを、市民の3Rということだけでなく、あらゆる面でしっかりと考えようという部分を目指す方向性でしっかり打ち出し、そのうえで施策をわかりやすく明記することが必要ではないか。	に加筆、修正

施策3:人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造

整理 番号	意見の概要	修正案
1	<p>施策3「人と自然が共生する緑豊かな都市の創造」のタイトルからは景観について、読み取れないので、「人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造」とするなど、景観施策をしっかりと誘導していったほうがよい。</p>	<p>ご意見を踏まえて、 施策3のタイトル「人と自然が共生する緑豊かな都市の創造」を「人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造」 に加筆、修正</p> <p>また、目指す方向性を 「見沼田圃や荒川など多様な動植物が生息する自然環境の保全・活用・再生、都市緑化の推進と身近な水辺環境の保全・創出とともに、個性豊かで魅力ある景観を形成することにより、人と自然が共生する緑豊かな美しいまちを目指します。」 に加筆、修正</p>
2	<p>都市のつくり方に、美しさなど景観に関する視点も盛り込まれるとよい。</p>	<p>ご意見を踏まえて、 1. 現状と課題の1つ目の・の後半部に「本市の原風景を作り出すとともに、心の安らぎや潤いを与えています」 に加筆、修正</p> <p>また、1. 現状と課題の3つ目の・を削除したうえで、2つ目の・に 「しかし、経済活動の拡大や都市化の進展等に伴い、樹林地や池沼は年々減少を続けており、今後もこの傾向は続くと予想されています。特に、首都圏に残された貴重な緑地空間であり、治水機能や防災機能を有する見沼田圃の保全・再生については、耕作者や土地所有者による営農努力や従来の行政の取組だけでは困難になりつつあり、市の重要課題の一つとなっています。」 を加筆</p> <p>さらに、4. 施策展開(2)の・を 「見沼田圃の特性を生かし、土地利用、農、自然環境、歴史・文化、観光・交流、教育市民活動などに関する様々な取組を総合的に推進するなど、誰もが憩うことのできる心のふるさととして、魅力ある見沼田圃の再生・活性化を図るとともに、かけがえのない環境資産として守り育てます。」 に加筆、修正</p>
3	<p>見沼田圃は偶然残ったものではなく、洪水対策のために農家が守ってきたもので、防災面を支えるポイントになっている。また、人を癒し再生するホスピタリティの機能もある。単に大事であるというだけではなく、こうした内容も表現してほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえて、 1. 現状と課題の1つ目の・の後半部に「本市の原風景を作り出すとともに、心の安らぎや潤いを与えています」 に加筆、修正</p> <p>また、1. 現状と課題の3つ目の・を削除したうえで、2つ目の・に 「しかし、経済活動の拡大や都市化の進展等に伴い、樹林地や池沼は年々減少を続けており、今後もこの傾向は続くと予想されています。特に、首都圏に残された貴重な緑地空間であり、治水機能や防災機能を有する見沼田圃の保全・再生については、耕作者や土地所有者による営農努力や従来の行政の取組だけでは困難になりつつあり、市の重要課題の一つとなっています。」 を加筆</p> <p>さらに、4. 施策展開(2)の・を 「見沼田圃の特性を生かし、土地利用、農、自然環境、歴史・文化、観光・交流、教育市民活動などに関する様々な取組を総合的に推進するなど、誰もが憩うことのできる心のふるさととして、魅力ある見沼田圃の再生・活性化を図るとともに、かけがえのない環境資産として守り育てます。」 に加筆、修正</p>
4	<p>見沼田圃は防災性を支えている重要な資源であることを強調して、防災性の向上のポイントがあるといった部分を、現状と課題にもう少し入れてほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえて、 1. 現状と課題の1つ目の・の後半部に「本市の原風景を作り出すとともに、心の安らぎや潤いを与えています」 に加筆、修正</p> <p>また、1. 現状と課題の3つ目の・を削除したうえで、2つ目の・に 「しかし、経済活動の拡大や都市化の進展等に伴い、樹林地や池沼は年々減少を続けており、今後もこの傾向は続くと予想されています。特に、首都圏に残された貴重な緑地空間であり、治水機能や防災機能を有する見沼田圃の保全・再生については、耕作者や土地所有者による営農努力や従来の行政の取組だけでは困難になりつつあり、市の重要課題の一つとなっています。」 を加筆</p> <p>さらに、4. 施策展開(2)の・を 「見沼田圃の特性を生かし、土地利用、農、自然環境、歴史・文化、観光・交流、教育市民活動などに関する様々な取組を総合的に推進するなど、誰もが憩うことのできる心のふるさととして、魅力ある見沼田圃の再生・活性化を図るとともに、かけがえのない環境資産として守り育てます。」 に加筆、修正</p>
5	<p>見沼田圃はただの緑地ではなく農地なので、農業を守っていくといった記述が薄いのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえて、 1. 現状と課題の1つ目の・の後半部に「本市の原風景を作り出すとともに、心の安らぎや潤いを与えています」 に加筆、修正</p> <p>また、1. 現状と課題の3つ目の・を削除したうえで、2つ目の・に 「しかし、経済活動の拡大や都市化の進展等に伴い、樹林地や池沼は年々減少を続けており、今後もこの傾向は続くと予想されています。特に、首都圏に残された貴重な緑地空間であり、治水機能や防災機能を有する見沼田圃の保全・再生については、耕作者や土地所有者による営農努力や従来の行政の取組だけでは困難になりつつあり、市の重要課題の一つとなっています。」 を加筆</p> <p>さらに、4. 施策展開(2)の・を 「見沼田圃の特性を生かし、土地利用、農、自然環境、歴史・文化、観光・交流、教育市民活動などに関する様々な取組を総合的に推進するなど、誰もが憩うことのできる心のふるさととして、魅力ある見沼田圃の再生・活性化を図るとともに、かけがえのない環境資産として守り育てます。」 に加筆、修正</p>

6	かつては多くあった豊かな里山が減少してきたので、施策展開「(1)水と緑の保全と再生」に、里山の保全についての文言を入れてはどうか。	ご意見を踏まえて、4. 施策展開(1)の1つ目の・と4つ目の・を統合したうえで、 「 <u>市民・事業者等との連携・協力による、情報提供や意識啓発、近郊緑地保全区域や特別緑地保全地区の指定などを通じ、身近な緑地や里やまなどの自然環境及び生物多様性の保全・再生に取り組みます。</u> 」 に加筆、修正
---	---	--

◎ 「成果指標」に関して調整部会において検討とするもの

意見の概要	
施策 1	例えば市民一人あたりの温室効果ガス排出量4.12t-co ₂ とは、どれくらいの程度を表した数字なのか説明が必要で、目標値についても設定の根拠が示されなければ、市民は納得しにくい。
施策 3	成果指標「自然環境の保全活動に取り組んでいる市民の割合」について、環境保全は自然だけではないので、より全体にかかる指標になるのではないか。
施策 3	成果指標「緑や水辺などの自然が身近にあると感じる市民の割合」は、市内でも居住地によって感じ方が違うのではないか。 例えば、市内でもよいと言われている地域の数値を努力目標として、何年後かにはみんながその数値になるようにといった、何か評価するものがあると判断しやすいのではないか。

◎ 「(仮称)皆さんも取り組んでみませんか？」に関して調整部会において検討とするもの

意見の概要	
施策 1	グリーンな市場による経済の活性化を目指してほしい。そのため「(仮称)皆さんも取り組んでみませんか？」の2番目は、「省エネ、リサイクル製品」ではなく、より広義を指すように「環境に配慮した製品」を購入する変更した方が良い。
施策 全般	市民と行政がともにまちをつくることをもう少し具体的に表現できると、市ならではのものとなって良い。
施策 全般	市民に対して宿題を出したのではなく、パートナーシップで進めることが受け取れるように表現の工夫が必要である。

◎「重点戦略」検討の際に参考とするもの

施策 1	環境先進都市として「低炭素なまちづくり」を目指すことを掲げれば、施策1の施策展開(3)(4)(5)すべてが含まれる。都市基盤・交通など他の分野にも関わるので、今後大事なキーワードである。
施策 全般	見沼田圃や水と緑の空間があり、都市だけの生活でなく農もある。心豊かに暮らせる次世代のライフスタイルを実現できるようなまちであることを強調してほしい。
施策 全般	さいたま市はハード面に加え、ヒト、モノ、コト、クオリティなどソフト面との総合力で見ると、良い資源がたくさんあって他市より優位性を持っているので、それらを総合化したものを計画に表せると他との差別化を図れる。
施策 全般	さいたま市には都市の生活だけでなく水や緑、農の要素もあって、次世代のライフスタイルを実現できるところが強みである。
施策 全般	将来のさいたま市らしい暮らしをイメージしたストーリーを考えて、参考資料などで盛り込むと面白い。

◎「次期実施計画」策定の検討や事業実施の際に参考とするもの

	意見の概要
施策 1	施策展開(4)について、今後は、バイオマスなど未利用エネルギーの活用も進むと考えられるので、記載事項を加えてはかがか。
施策 1	施策展開(2)の2つ目について、光害を追加することも検討してはどうか。景観法ではサーチライトやパチンコ店のフラッシュランプの規制はできないので、市独自に行うことも必要ではないか。
施策 2	事業者が排出する大量の廃棄物について、例えば、水道をつくる際に出る泥の処理や活用など、国や県と連携して対応することが必要である。
施策 3	気温の高さは、ヒートアイランドが影響しているので、クールスポットを適宜設ける、つまり水と緑を増やすことが必要である。
施策 3	見沼田圃をいかに保全するかが課題である。

施策 3	見沼田圃など多くの問題は、当事者だけでは解決が難しく、どう連携していくかが重要である。
施策 3	見沼田圃を訪れる人のための、トイレや施設がない。
施策 3	見沼田圃には極相林がない。人とのかかわりの中でどういう環境をつくるか考えていく必要がある。
施策 3	生物多様性を守るためには、水や緑のネットワークの整備が大事である。
施策 3	環境保全活動や自然保護には市民参加がとても重要なので、市民参加をどのように促すのか、自分のこととして参加するための支援策や誘導策が必要である。
施策 3	市内のデザインの質をもう少ししっかりとすべきである。景観に関してしっかりと誘導し、デザインとしてワンランク上の質を目指してもいいのではないか。